

【 1 】 新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:66, 139, 617円
(事業収入:25,174,600 円、市負担金収入:40,665,017 円、
その他補助金収入:300,000 円)
- 支出決算額:64, 769, 922円

2 事業の成果

- ◆ 受注促進・販路開拓支援事業:引合件数は昨年度比約 13%の増加となり、機械要素技術展の引合件数は、東京展と大阪展ともに増加傾向であった。
- ◆ 燕三条ものづくりメッセ開催事業:来場者数は昨年度を上回り、出展企業の商談件数および成約件数も昨年度を大幅に上回った。来場者ならびに出展社の目標達成度からも評価の高い展示会となった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業

(収入決算額:22,564,232 円、支出決算額:21,596,232 円)

① 地域企業訪問による受注促進

展示会出展や当センターへの問い合わせ企業などを対象として計画的な訪問・フォローアップを実施し、受注促進を図った。さらに技術職スタッフによる専門知識や機械設備を活用した提案型マッチングサービスを提供することで、顧客の具体的な技術課題や試作ニーズへの確に対応し、引き合い案件や成約の増加につなげた。また紹介・見積提出後のフォローアップにより成約の増加を図った。

年度	受 注 幹 旋(件)				引 合 件 数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 検 討 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
R7	48	65	490	22	625	49
R6	40	84	415	14	553	36
R5	41	73	410	11	535	62

・ 引き合いの主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	表面処理	104 件	14.2%
2	機械加工	71 件	9.7%
3	板金加工	67 件	9.2%

・ 成約の主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	板金加工	11 件	19.3%
2	表面処理	8件	14.0%
3	各種刃物/工業用刃物	5件	8.8%

- ・ Web 受発注システムへの企業照会（単位：件）

年度	部品加工分野	民生品分野
R7	32	44
R6	44	48
R5	41	22

- ・ 受発注打合せ件数（単位：件）

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
R7	150	7	53	62	32
R6	152	9	41	54	30
R5	61	5	39	32	36

② 燕三条地域企業との技術系展示会への共同出展等による受注促進

1) 地域企業との共同出展

機械要素技術展は東京、大阪ともに引合件数が増加。引合案件は機械加工、表面処理、プレス加工が多い傾向であった。

展示会名称 (会 場)	年 度	来場者数	共同出展 企業数	引合 件数	成約 件数
機械要素技術展 (幕張メッセ) ※R6、R5は 東京ビッグサイト	R7(7/9～11)	55,749 人	18 社	240 件	17 件
	R6	69,717 人	22 社	236 件	12 件
	R5	66,895 人	22 社	171 件	20 件
関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	R7(10/1～3)	30,615 人	9社	50 件	3 件
	R6	31,007 人	8社	46 件	21 件
	R5	31,627 人	8社	15 件	9件
高精度・難加工 技術展 (東京ビッグサイト)	R7(12/3～12/5)	44,301 人	4社	14 件	1件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計

2) 単独出展【新規】

来場者数は、展示会の規模として限定的であったものの引合案件は大企業の開発部門などが多かった。

展示会名称 (会 場)	開催期間	来場者数	成約 件数	引合 件数
ものづくりパートナーフォーラム (東京都立産業貿易センター浜松町館)	5/29	637 人	0件	13 件
彩の国ビジネスアリーナ (さいたまスーパーアリーナ)	11/18-19	10,674 人	1件	14 件

③ ものづくり企業ナビの AI 組込運用試験

ユーザーの検索効率を高めるため、既存の企業データベース「燕三条ものづくりナビ」に ChatGPT を組み込み、検索頻度の高い「板金加工」「プレス加工」などを中心に企業情報の学習を最適化し、適切な応答結果が得られるよう調整を進めた。

④ 地域内外企業への情報提供

- 1) 展示会、商談会案内を掲載したリサーチコア通信を発行した。(約 650 社、3回)
- 2) 県外企業の発注担当者など(約 1,500 人)へ地域企業の加工技術情報や展示会出展情報を紹介するメールを配信した。(4回)

(2) 燕三条ものづくりメッセ開催事業

(収入決算額:43,575,385 円、支出決算額:43,173,690 円)

昨年度より 17 社増え、191 社の企業・団体が出展。来場者数は目標数には届かなかったものの計画的な広報活動を行い、昨年度比で微増ではあったが、商談件数は約 30%、成約件数は約 16%の増加となった。また近隣学生、約 170 人に展示会見学を促すことでものづくり意識の浸透を図った。来場者ならびに出展社へのアンケート結果では来場者の目標達成度は 79%、出展社の目標達成度は 84%となり、双方の目的にかなう展示会となった。

① 名 称:燕三条ものづくりメッセ 2025

② 会 期:令和7年 10 月 23 日(木)～24 日(金)

③ 会 場:燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール他

④ 出展規模

・ 地域別

(単位:社・団体)

	R7	R6	R5
燕三条地域	99	110	103
その他地域	92	64	73
合 計	191	174	176

・ 分野別

(単位:社・団体)

	R7	R6	R5
加工技術	114	101	97
機械装置	26	9	24
民生品	10	21	14
ソリューション	24	26	25
教育・研究機関	8	8	8
産業支援機関	9	9	8

⑤ 来場者数

(単位:人)

	R7	R6	R5
来場者数	4,104	3,930	4,356

⑥ 展示会概要

1) 展示会での商談、ビジネスマッチング (単位: 件)

	R7	R6	R5
商談件数	2,176	1,671	1,443
成約件数	81	31	18

2) オープニングセミナー

- ・ 日 時: 令和7年 10 月 23 日(木) 14:00～15:30
- ・ 内 容: 町工場革命! IoT・DX・生成 AI の活用
- ・ 講 師: 旭鉄工(株) 執行役員
i Smart Technologies(株) エグゼクティブマネジャー
都築 敏 氏
- ・ 聴講者: 65 人

3) 商談会/見学会

- ・ 日 時: 令和7年 10 月 23 日(木) 13:30～15:00
- ・ 参加企業: 発注側企業 10 社、受注側企業 26 社
- ・ 商談件数: 38 件

4) 溶接・材料技術講演会

- ・ 産学連携技術支援事業「ものづくりフォーラム」として実施。
- ・ テーマ: 製造現場の3D プリンター最新技術
- 治工具(樹脂・金属)の活用事例を中心に -
- ・ 日 時: 令和7年 10 月 24 日(金) 13:00～16:00
- ・ 演 題: ア 樹脂3D プリンティングの最新業界トレンドと国内外の先進的な活用事例
について
Formlabs(株) シニアセールスエンジニア 金 大敬 氏
イ 多種多様なワークに対応する, DMG MORI の積層ソリューション
- DED&SLM -
DMG 森精機 Additive(株) AM 技術営業グループ 安田 兼大 氏
ウ 福島県ハイテックプラザにおける金属積層造形への取組
福島県ハイテックプラザ 副主任研究員 小林 翼 氏
- ・ 聴講者: 67 人

5) 研究会紹介コーナー

〈技能伝承研究会〉

- ・ 日 時: 令和7年 10 月 23 日(木) 1 回目 11:00～12:00、2 回目 14:00～15:00
- ・ 内 容: 開発した計測器の実演
ア 爪切り刃付けの角度、力の計測・・・諏訪田製作所(株)
イ バレル研磨機の数値の見える化・・・(株)東商技研工業

〈生産性向上研究会・感性評価研究会〉

- ・ 日 時: 令和7年 10 月 23 日(木)～24 日(金)
- ・ 内 容: パネル展示

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

- 収入決算額:9,550,649円
(事業収入:3,792,169円、市負担金収入:5,458,480円、
その他補助金収入:300,000円)
- 支出決算額:5,241,070円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業:**生成 AI を活用したデジタルデバイスの組み込みプログラムの作成方法や、生産現場におけるデジタルデバイスの活用方法などを、セミナーや研究会を通じて情報共有し、生産性向上の手法を広めた。
- ◆ **技術開発総合支援事業:**地域企業から寄せられた試作や図面化などの相談に対し、センター所有の機器を活用し課題の解決を行った。

3 実施事業

(1) 企業開発力強化事業

(収入決算額:9,550,649円、支出決算額:5,241,070円)

① 産学連携技術支援事業(担当:技術開発課)

1) ものづくりフォーラム

地域外での取り組みや大学などの研究をトピックスとして情報提供し、生産性向上および開発力向上のきっかけを提供した。また、新規に導入した計測機器をPRするためにセミナーを開催した。

- ・ 期間(回数):令和7年10月～令和8年2月(3回実施)
- ・ 参加者:延べ125人

	開催日	テーマ	講師	人/社
1	10/24 ※ものづくり メッセと同時 開催	樹脂3D プリンティングの最新 業界トレンドと国内外の先進 的な活用事例について	Formlabs(株) シニアセールスエンジニア 金 大敬 氏	67/49
		多種多様なワークに対応する. DMG MORI の積層ソリューションーDED&SLMー	DMG 森精機 Additive(株) AM 技術営業グループ 安田 兼大 氏	
		福島県ハイテクプラザにおけ る金属積層造形への取組	福島県ハイテクプラザ 副主任研究員 小林 翼 氏	
2	11/10	人間中心設計 お客様に満足していただける モノづくりのコツ	特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構 副理事長 水本 徹 氏	20/18
3	2/13	計測の「ミソ」セミナー ～幾何公差の重要性と測定 に関するヒント～	(株)東京精密 計測社 技師長 丸山 聡 氏	38/15

2) 産学連携研究会

ア 技能伝承研究会

研究会で開発した技能伝承ツールの特許出願を行った。また、様々なセンサーの活用を検討し、技能伝承ツールを展開した。

- ・ 期間(回数): 令和7年7月～令和8年2月(4回実施)
- ・ 指導者: 長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 村上 祐貴 氏
- ・ 参加者: 11 人(9社)

イ 生産性向上研究会

生産性向上のための IoT 機器の活用について、組み込みプログラムを生成 AI にて作成する方法を学んだ。また、その活用について先進企業の視察を行った。

- ・ 期間(回数): 令和7年5月～令和8年3月(4回実施)
- ・ 指導者: 長岡技術科学大学 工学部 技学研究院 教授 磯部 浩巳 氏
- ・ 参加者: 21 人(15 社)

ウ 感性評価研究会

社内外への感性の伝達をテーマとして、セミナーとワークショップを通じて学んだ。感性を共通の言葉で話す手法としてのブランディングを学んだ。

- ・ 期間(回数): 令和7年5月～令和8年1月(7回実施)
- ・ 指導者: 長岡造形大学 デザイン学科 准教授 金澤 孝和 氏
長岡造形大学 デザイン学科 助教 山田 英嗣 氏
- ・ 参加者: 21 人(9社)

② 技術開発総合支援事業

1) 機械設備・分析測定機器の利用促進

新たに更新した測定機器を含め、地域企業の利用促進のために各種機器を紹介するオーダーメイド型の説明会を随時開催した。

- ・ 開催回数: 62 人(28 社)

【機械設備利用状況】

名 称	R7	R6	R5
3D スキャナー	52	34	—
多関節型3次元デジタイザー	0	2	18
3次元デジタイジング装置	5	7	16
3次元デザイン CAD システム	64	40	39
3D プリンター	74	53	47
蛍光X線分析装置	39	27	40
レーザーマーカー	18	19	21
デジタルマイクロスコープ	7	10	6
3D 測定レーザー顕微鏡	15	9	23
雰囲気熱処理炉	4	5	—
その他の設備	17	21	47
合 計(件数)	295	227	257

2) 技術相談

地域企業から相談のあった製造過程での不具合の原因や、技術的な解決方法などの課題に対して、センターの技術職員と一緒に解決策を考えた。

- ・ 相談件数:81 件(59 社) (R6:64 件(55 社))

3) 知的財産権相談

弁理士による特許や実用新案、意匠などの知的所有権の個別相談会を月1回開催した。

- ・ 指導者:ジーベック国際特許事務所 所属弁理士
- ・ 相談件数:29 件(11 社) (R6:29 件(13 社))
- ・ 出願に繋がったもの:5件(R6:5件)

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額:36,862,957円
(事業収入:4,380,500円、市負担金収入:32,482,457円)
- 支出決算額:36,147,475円

2 事業の成果

- ◆ 次世代ブランド企業の創出を目指し、ユーザーに期待される価値創造会社へと進化するためのプログラムを実施。経営者と共に現在の仕事を把握するとともに、価値創造ができるフローを作成し、新たな事業構想の基をつくった。
- ◆ 見本市への共同出展や丸の内での受賞製品展示を通じて、燕三条製品で創造するライフスタイルを発信。デザインギャラリーでの各種展示も併せ、参加する企業のブランド力向上と地域ブランドイメージの向上を図った。
- ◆ 両商工会議所青年部を中心に実行委員会を組織し、地域の資源であるオープンファクトリー「燕三条 工場の祭典」を開催。参加事業所、来場者、売上いずれも過去最高を記録し、参加者・関係者のモチベーションアップへと繋げ、この先の展望を図った。

3 実施事業

(1) 地域ブランド強化・発信事業

(収入決算額:36,862,957円、支出決算額:36,147,475円)

① 次世代ブランド企業創出プロジェクト

市場で同業と競争する会社から、ユーザーに期待される価値創造会社へと進化するためのプログラムを実施した。

- ・ 実施期間:令和7年7月～令和8年3月 全10回
- ・ 実施内容:経営者主体で自社を知り、未来を描き、社員と共有するワークショップ、仕事の仕方リフォームに向けた業務フロー見直し 他
- ・ 参加企業:3社(メンバー8人)
- ・ 委託先:(株)クルー、コラサポワークスーK

② インテリアライフスタイル 2025 出展

デザイン、機能、品質が優れた燕三条製品のライフスタイルを発信し、ものづくり地域としての更なるブランド力向上を図った。

- ・ 会 期:令和7年6月18日(水)～20日(金)
- ・ 会 場:東京ビッグサイト 東展示棟「JAPAN STYLE」ゾーン

年度	来場者数	共同出展社数	コンタクト数	商談件数	成約件数
R7	15,154人	14社	536件	172件	69件
R6	16,577人	12社	670件	169件	43件
R5	18,634人	14社	589件	176件	17件

③ 町工場 NOW！出展

加工業を主とした地域企業が基盤技術を駆使して開発した製品及びブランドをライフスタイル業界に発信し、自社ブランドの育成に取り組んだ。

- ・ 会 期:令和7年9月3日(水)～5日(金)
- ・ 会 場:東京ビッグサイト 西展示棟「LIFE×DESIGN」

年度	来場者数	共同出展社数	コンタクト数	商談件数	成約件数
R7	43,445 人	5社	145 件	35 件	12 件
R6	42,448 人	5社	335 件	48 件	15 件

④ デザイン賞活用支援

1) GOOD DESIGN Award 2025 応募説明会、トークセッション、相談会

- ・ 開催日:令和7年4月 18 日(金)
- ・ 参加企業:説明会 15 人(12 社)、個別相談 3 社
- ・ トークセッション:「G マーク審査のポイントと、受賞の活用ノウハウ」
 スピーカー 石橋 忠人 氏 (有)アイディーエル、2025 年度審査委員
 本多 由紀子 氏 (株)新越ワークス、2024 年度受賞企業

2) GOOD DESIGN Award 2025 燕三条

- ・ 内 容:2025 年度受賞製品と「GOOD DESIGN STORE TOKYO」で購入可能な製品及び、多数の受賞歴を持つ企業の創業から現在までの取組みを紹介する展示を行った。
- ・ 会 場:GOOD DESIGN Marunouchi(東京都千代田区丸の内)
- ・ 会 期:令和7年 12 月6日(土)～12 月 16 日(火)
- ・ 展示数:102 点

年度	R7	R6	R5
来場者数	7,221 人	9,991 人	8,450 人

3) デザインギャラリーでの常設展示

- ・ GOOD DESIGN AWARD 2025 燕三条地域受賞商品 15 点
- ・ ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2025 受賞製品 12 点

⑤ オープンファクトリーイベント「燕三条 工場の祭典」の開催

燕と三条の両商工会議所青年部を中心に組織された実行委員会による2回目の開催。積極的な事業推進、PR 活動により、参加事業所数、来場者数、販売金額が過去最多を記録した。

- ・ 内 容:燕三条地域の事業所が製造現場などを一斉に開放し、訪れた先でものづくりを見学・体験・購入ができるイベントを開催した。
- ・ 会 期:令和7年 10 月2日(木)～5日(日) 4日間

年度	会期	来場者数	参加事業所数
R7	4日間	60,510 人	133 社
R6	4日間	38,592 人	109 社
R5	4日間	29,773 人	87 社

⑥ トrendセミナーの開催

ジャンルを問わず応用できる品質や価格を超えた価値のを見つけ方を学び、自社の開発プロセスを見直すヒントを得るセミナーを開催した。

- ・開催日時:令和8年3月11日(水) 参加企業:20人(14社)
- ・テーマ:品質・価格起点ではない地場産業の新しい価値創造に立脚した製品開発
- ・講師:(有)アイディーエル 石橋 忠人 氏

⑦ 企業プレゼンテーションスペースの提供

デザインギャラリーでの展示を通じて、自社製品の魅力発信と企画力の育成、企業のブランド力の醸成を支援した。

- ・会場:リサーチコア 3階 デザインギャラリー
- ・展示企業:30社(R6:25社)

⑧ 「燕三条 夢創紀行」ポータルサイトの運営

観光関連団体と連携し、イベント情報等を集約して地域の魅力を発信した。

年度	イベント情報	アクティビティ情報
R7	70件	18件
R6	70件	9件
R5	87件	22件

⑨ 「燕三条まちあるき」の支援

- ・コース主催団体の独自運営支援及び開催情報を発信した。

年度	実施コース数	参加延人数	備考
R7	14	84人	
R6	9	40人	中止1コース
R5	11	62人	中止1コース

⑩ 地域デザイン団体の支援

燕三条デザイン研究会の活動を支援した。

- ・開催日:令和7年9月9日(火)、令和8年3月4日(水)

【4】企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額:11,716,458円
(事業収入:4,258,160円、市負担金収入:7,458,298円)
- 支出決算額:11,718,174円

2 事業の成果

- ◆ **技術力強化支援事業:**新入社員向けの講座を短期集中で開催することで多くの方に受講いただいた。技術系講座では、基礎的な内容から実務レベルの内容まで幅広く展開することで、地域企業の技術力向上を推進した。
- ◆ **経営力強化支援事業:**講座を開講するにあたり、アンケート結果やトレンドなどから研修のカリキュラムを見直したことで受講者の満足度を上げることができた。また、リサーチコアレポートの一環としてリサーチコアの事業紹介リーフレットを新規で作成し、センター活用のための広報を行った。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業

(収入決算額:2,670,200円、支出決算額:2,669,589円)

地域企業の新入社員から中堅社員向けに、技術力向上を目的とした講座を幅広く開催した。

- ・ 全10コース、47回、137時間、募集160人/実績147人
(R6:全11コース、49回、146時間、募集180人/実績153人)
- ・ 理解度60%以上の受講者:69%/満足度「良かった」以上の受講者:78%
(R6:理解度60%以上の受講者:68%/満足度「良かった」以上の受講者:81%)

① 新人基礎コース(1コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
基礎から学ぶ!金属材料・図面の読み方講座	4/15~4/25(24時間)	33/23	26/20	30/20

② 技術基礎コース(5コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
製造現場に必要な数学・化学・材料強度の基礎講座	6/25~7/23(10時間)	6/4	8/6	11/7
図面の見方・描き方入門講座(第1期)	7/15~8/1(17時間)	20/15	20/12	19/15
図面の見方・描き方入門講座(第2期)	11/7~11/25(17時間)	18/15	8/7	25/21
金属材料基礎講座	8/29~9/16(15時間)	12/11	18/14	14/13
3D-CAD 入門講座	8/30~9/9(15時間)	6/4	4/3	9/9
合 計		62/49	58/42	78/65

③ 専門分野集中研修コース(3コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
表面処理技術集中講座	5/13～5/27(9時間)	18/13	11/13	9/6
溶接技術集中講座	9/18～9/19(9時間)	11/7	10/8	11/10
プレス加工集中講座	12/3～12/17(9時間)	14/10	21/16	15/13
合 計		43/30	42/37	35/29

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース(1コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
燕三条ものづくり現場改善基礎講座	8/27～10/8(12 時間)	9/7	15/9	13/10

(2) 経営力強化支援事業

(収入決算額:9,046,258 円、支出決算額:9,048,585 円)

① 企業向け情報・経営系研修会の開催

業界シェアが高く当地域でも地域企業の事業運営やデジタル化の一助となるソフトを、より実用的に学べるようセミナーを開催した。セミナーの受講者の8割以上の方から高い評価を得ることができた。

- ・ 全6コース、19 回、55 時間、募集 90 人/実績 70 人

(R6:全7コース、23 回、57 時間、募集 90 人/実績 57 人)

- ・ 理解度 60%以上の受講者:80%/満足度「良かった」以上の受講者:86%

(R6:理解度 60%以上の受講者:70%/満足度「良かった」以上の受講者:82%)

〈情報系〉(3コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
仕事の効率を上げる Excel 活用講座	5/19～5/29(10 時間)	14/10	10/6	15/11
デジタルツール活用ワークショップ	8/28～8/29(12 時間)	5/5	12/8	9/6
WordPress 入門講座	11/5～11/14(12 時間)	6/6	9/8	6/6
合 計		25/21	31/22	30/23

〈経営系〉(3コース)

(単位:人/社)

講座名	期間(時間数)	R7	R6	R5
営業力強化セミナー	4/9～4/23(6時間)	14/9	8/8	12/8
現場指導のためのコミュニケーション講座	6/13～6/27(6時間)	16/9	—	—
中堅・若手社員のコスト意識育成講座	7/11～7/25(9時間)	15/11	14/9	26/17
合 計		45/29	22/17	38/25

② 経営力強化のための個別相談事業

利用実績 2件(2社)

③ センター事業の広報活動

- 1) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年2回)
- 2) ビジネス情報の提供
メールマガジンの発行
 - ・ 毎月1回(年間 12 回)配信
 - ・ 掲載情報件数:103 件
 - ・ 3月末メルマガ配信登録者数:540 件

④ 地場産センターホームページ、フリースポットの管理・運営

地場産センターホームページを随時更新した。また館内のフリースポットの安定稼働に努めた。

- ・ センターホームページの月平均閲覧数:30,730 件/月(R6:29,513 件/月)

⑤ 情報関連機器の維持管理、情報研修室の利用促進

センター内情報機器ネットワークを安定的に運用するため、各種サーバーや通信環境のメンテナンス、データのバックアップ、グループウェアの運用などを行った。

(※R6年度)

貸出機器名	貸出件数	備考
パソコン・プロジェクター	32 件(19 件)	情報研修室内の貸出用 PC 他

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

- 収入決算額:38,841,796円
(事業収入:5,299,800円、市負担金収入:33,541,996円)
- 支出決算額:38,884,128円

2 事業の成果

- ◆ 北米およびドイツのBtoB展示会に地域企業と共同出展し、バイヤーとの商談機会を創出して成約に結びつけることができた。また、北米の東海岸と西海岸でテストマーケティングを兼ねたBtoC販売促進イベントを実施し、現地消費者の反応や市場性を直接確認することができた。
- ◆ 新市場の調査としてフランス、スイス、サウジアラビアを対象に、燕三条製品と親和性の高い展示会や現地店舗での販売促進イベント開催の可能性などの調査を行った結果、フランス市場はクラフトマンシップへの評価も高く、次なる販路開拓の最適な候補地として有望であることが確認できた。
- ◆ インバウンド誘客では、北米および台湾において展示会や販売促進イベントと連動した燕三条地域のPRを実施し、来訪促進に取り組んだ。
- ◆ 企業ニーズが高い海外市場の実情や越境ECをテーマにしたセミナーを開催し、人材育成とスキル向上に寄与した。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額:38,841,796円、支出決算額:38,884,128円)

① 北米(東海岸)での販路開拓

1) ニューヨーク販売促進イベント開催【新規】

物販機能を併設したアートギャラリーにて販売促進イベントを開催した。参加企業にとってはデザイナーやリテラーとの対話を通じて製品開発のヒントや新たな視点を得る貴重な機会になった。

- ・ 会 期:令和7年8月8日(金)～10日(日)
- ・ 会 場:usagi と new york (163 Plymouth St, Brooklyn, NY 11201)
- ・ 来場者数:約1,000人
- ・ 参加企業数:6社(販売点数:188アイテム)

2) ニューヨーク SHOPPE OBJECT 2025 出展

流行の先端を行くデザイナーやバイヤー、小売店らが来場するハイブリッド展示会に出展した。継続的な出展により燕三条の認知度が着実に高まり、過去最多となる成果に結びついた。

- ・ 会 場:The Starrett-Lehigh Building
(601 West 26th Street, New York, NY 10001)

会 期	共同出展 企業数	コンタクト数	成約件数
R7(リアル展)8/3～8/5 (オンライン展)7/15～R8/1/14	4社	399 件	91 件
R6(リアル展)8/4～8/6 (オンライン展)7/15～R7/1/14	5社	181 件	64 件
R5(リアル展)8/13～15 (オンライン展)7/15～R6/1/15	8社	352 件	62 件

② 北米(西海岸)での販路開拓

燕三条製品のテストマーケティングと製品の魅力を伝えるワークショップを開催した。

1) ロサンゼルス燕三条 FAIR(JACCC)開催

- ・ 会 期:令和7年 10 月 9 日(金)～12 日(日)
- ・ 会 場:日米文化会館(Japanese American Cultural & Community Center)
- ・ 来場者数:880 人
- ・ 参加企業数:9社(販売点数:911 アイテム)
- ・ ワークショップ参加人数:68 人

2) ロサンゼルス販売促進イベント開催【新規】

- ・ 会 期:令和7年 10 月 17 日(金)～19 日(日)
- ・ 会 場:Huntington Beach Library(TalbertAve,Huntington Beach,CA 92648)
- ・ 来場者数:1,500 人
- ・ 参加企業数:4社(販売点数:360 アイテム)
- ・ ワークショップ参加人数:13 人

③ 欧州での販路開拓

1) アンビエンテ 2026 出展(ドイツ・フランクフルト)

世界 170 ヶ国から、約 14 万人のバイヤーら来場する世界最大の消費財見本市に出展した。

- ・ 会 場:フランクフルト国際見本市会場

(Ludwig Erhard Anlage1 60327 Frankfurt am Main, Germany)

会 期	共同出展企業数	コンタクト数	成約件数
R7(R8/2/6～10)	11 社	268 件	20 件
R6	12 社	345 件	67 件
R5	15 社	378 件	72 件

④ インバウンド事業の実施

1) 北米(東海岸)ニューヨーク販促イベントでのプロモーション【新規】

usagi と new york で開催された販売促進イベントにて、観光案内やパンフレット配布等を通じて、地域 PR を実施した。

2) 北米(西海岸)ロサンゼルス燕三条 FAIR でのプロモーション

日米文化会館と Huntington Beach Library で開催された燕三条 FAIR にて地域 PR を実施し、後者では旅行会社と連携し5組(18 人)のツアー造成に繋がった。

3) 新潟県等と連携したアジア地域プロモーション

タイで高い発信力を持つインフルエンサーを招聘し、タイ旅行メディアへの燕三条地域の特集記事掲載、SNS を利用したプロモーションを実施した。

4) 台湾(台北市)でのプロモーション【新規】

之間-看見 IN Between Visions-2026 燕三条交流展(燕三条貿易振興会連携)にて地域プロモーションを行った。

- ・ 会 期:令和8年3月 26 日(木)～29 日(日)
- ・ 会 場:松山文創園區(台北市信義區光復南路 133 號)
- ・ 来場者数:8,182 人 (Instagram 登録者数 2,363 人増加)

5) SNS による燕三条地域の情報発信

インスタグラムによる情報配信

「Discover TSUBAMESANJO」アカウントで継続的に地域の情報を発信するとともに、インバウンド事業のプロモーションイベントにおいてフォロワー獲得に努めたことで、閲覧数、登録者数の大幅な増加につながった。

年度	投稿数	閲覧数	投稿反応数	登録者数
R7	647 件	342,042 回	6,290 件	7,221 人
R6	378 件	75,495 回	5,683 件	4,675 人
R5	161 件	81,540 回	6,111 件	2,226 人

6) インバウンド誘客用リーフレット・フライヤーの刷新

工場見学が可能な施設の情報をまとめたリーフレットの情報を更新し、インバウンドプロモーションの各会場で配布し情報提供を行った。

⑤ 海外事業コーディネーター等との連携による市場調査【新規】

海外事業コーディネーターがフランス、スイス、サウジアラビアを対象に、燕三条製品と親和性の高い展示会や現地店舗での販促イベントの可能性などを調査した結果、日本食や日本文化への関心が高く、職人技を尊重する文化を持つフランス市場が、次なる販路開拓に最適であることが確認できた。

1) 市場調査結果検証の実施

フランス パリの有力小売店舗にて、店舗が選定した製品を試験的に販売し、現地消費者のニーズ把握を行った。

- ・ 会 期:令和8年2月 28 日(土)～3月1日(日)
- ・ 会 場:iRASSHAI(40 rue du Louvre,75001 Paris)
- ・ 販売アイテム数:81 点
- ・ 来店者数:4,300 人

⑥ 海外ビジネスに関する相談対応

ワンストップ窓口としてJETRO等と連携し、地域内企業、国外からの相談に対応した。

年度	R7	R6	R5
相談件数	130件(85社)	138件(77社)	127件(64社)

⑦ 海外ビジネスにセミナーの開催(新潟県・JETRO 連携)

年度	R7	R6	R5
開催数	11件	19件	4件
参加者数	326人(288社)	480人(434社)	97人(90社)

内訳:

	開催月	セミナー名	人/社
1	5月	貿易実務講座 基礎編 〜はじめての貿易実務①〜	25/17
2		貿易実務講座 基礎編 〜はじめての貿易実務②〜	40/30
3	6月	貿易実務講座 基礎編 〜はじめての貿易実務③〜	45/40
4		貿易実務講座 実践編 英文メール作成・AI 翻訳の活用術	44/41
5	7月	貿易実務講座 中級編 相手国関税を下げる EPA を使いこなす	23/21
6		貿易実務講座 中級編 価格算出力をつけて貿易/EC で利益を出す	33/30
7		貿易実務講座 中級編 販売代理店の発掘/注文を出してもらうには	26/23
8	8月	貿易実務講座 中級編 他社の失敗事例から学ぶ/海外進出における知財の重要性について	28/27
9		海外渡航を伴わない海外展開(越境 EC 等)講座 米国市場への対応と新市場開拓	37/36
10	9月	海外販路開拓セミナー 海外で売れるモノ・サービス	10/10
11		海外販路開拓セミナー 海外展示会出展のポイント	15/13

⑧ 海外展開に関する情報提供

地域企業向けメールマガジン「万里一空」による情報発信を行った。

年度	R7	R6	R5
配信回数	16回	15回	18回
登録者数	208人	189人	168人

【6】需要開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:651, 239, 765円
(事業収入:648,839,765 円、新潟県事業補助金収入:2,400,000 円)
- 支出決算額:489, 993, 590円

2 事業の成果

- ◆ **展示・即売事業:**地場産業に関連する実演や体験プログラムを継続的に実施し、「ものづくりのまち燕三条」を代表する店舗運営に努めた。また、インバウンド需要が高まるなか、訪日外国人に効率的なアンケートを実施し、来館契機の調査に役立てた結果、免税額も増加し、全体売上の向上に大きく貢献した。
- ◆ **燕三条駅観光物産センター事業:**燕三条の玄関口として相応しい店構えを目指し、お客様の視線に入り易い店舗改修及びレイアウト変更などが功を奏し、効果的な企業・商品PRができた。また来場者増加と比例するように売上げも向上した。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額:550,484,978 円、支出決算額:407,127,673 円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R7	540,254,128 円	2,531,850 円	7,005,800 円	549,791,778 円
R6	493,188,149 円	6,504,815 円	6,872,450 円	506,565,414 円
R5	501,363,754 円	11,090,582 円	6,717,414 円	519,171,750 円

② イベント等の実績

イベント名	開催期間			来場者数
GWフェア	R7	4/26～5/6	11 日間	約 21,894 人
	R6	4/27～5/6	10 日間	約 22,309 人
	R5	4/29～5/7	9 日間	約 22,840 人
お盆フェア	R7	8/9～17	9 日間	約 21,451 人
	R6	8/10～18	9 日間	約 20,925 人
	R5	8/11～16	6 日間	約 17,832 人

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	免税件数	免税購入金額
R7	293,829 人	4,984 人	2,643 件	57,757,411 円
R6	281,131 人	3,911 人	1,947 件	43,806,693 円
R5	302,518 人	3,173 人	1,473 件	31,957,481 円

④ その他実績

年度	観光バス来館	レンタサイクル利用
R7	591 台	411 人
R6	589 台	509 人
R5	567 台	454 人

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額:100,754,787 円、支出決算額:82,865,917 円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R7	95,622,066 円	1,100 円	2,687,201 円	98,310,367 円
R6	82,487,713 円	43,960 円	2,683,722 円	85,215,395 円
R5	72,596,235 円	110,905 円	2,679,967 円	75,387,107 円

② イベント等の実績

イベント名	開催期間			来場者数
GWフェア	R7	5/3～6	4日間	約 2,834 人
	R6	5/3～6	4日間	約 1,461 人
	R5	5/3～7	5日間	約 1,911 人
お盆フェア	R7	8/10～14	5日間	約 3,920 人
	R6	8/12～15	4日間	約 2,747 人
	R5	8/12～15	4日間	約 2,239 人

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	免税件数	免税購入金額
R7	151,289 人	1,486 人	745 件	12,415,981 円
R6	91,509 人	1,343 人	624 件	10,677,102 円
R5	68,859 人	1,407 人	597 件	10,437,561 円

【7】収益事業

1 収支決算額

- 収入決算額:130,045,583円
- 支出決算額: 72,007,547円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業:**他道の駅や関連する団体と連携したイベントの開催や、来館者ニーズの高い特色ある他地域商品の販売を通じ、観光施設の魅力度を上げ来館促進を図り、燕三条製品の効果的なPRを行った。
- ◆ **貸館事業:**会場施設等の修繕や備品等の更新により貸会議室の利用者が快適に過ごせる環境の整備に取り組む一方、貸館予約システムからの申込の利点を案内し、業務の効率化に努めた。
- ◆ **レストラン運営事業:**貸館状況による来館者予測、大規模な催事の開催情報等を共有し、レストランの増収につながるようサポートを行った。また会議用の弁当や飲料の提供を行うことにより、貸会議室利用者に対するサービスの向上に努めた。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額:56,381,146 円、支出決算額:39,942,455 円)

年度	地域外取扱商品販売金額		
	物産館	燕三条 Wing	合 計
R7	32,687,064 円	23,595,312 円	56,282,376 円
R6	30,796,555 円	17,455,213 円	48,251,768 円
R5	28,594,872 円	8,868,316 円	37,463,188 円

(2) 貸館事業

(収入決算額:61,100,764 円、支出決算額:21,718,664 円)

【会場利用状況】

施 設 名	R7		R6		R5	
	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数
メッセピア計	43,521,252	104,317	35,393,699	85,892	43,033,641	95,326
1F:多目的大ホール	23,434,016	38,480	18,050,691	21,424	22,920,282	16,800
3F:中会議室	2,161,225	6,879	1,642,575	5,948	2,024,687	10,107
4F:大会議室	6,012,600	13,013	4,967,599	10,565	6,073,787	16,977
特別会議室	803,275	2,609	430,375	656	769,450	325
小会議室	1,183,462	4,037	722,424	5,085	783,887	5,262
5F:総合研修室	8,609,424	30,321	8,253,711	33,416	8,968,023	38,198
ミーティングルーム	1,317,250	8,978	1,326,324	8,798	1,493,525	7,657

リサーチコア計	17,184,612	58,626	16,553,485	78,383	18,457,035	76,822
6F:研修室	10,107,487	45,261	9,482,823	64,413	10,993,536	59,936
7F:マルチメディアホール	7,077,125	13,365	7,070,662	13,970	7,463,499	16,886
合 計	60,705,864	162,943	51,947,184	164,275	61,490,676	172,148

(3) レストラン運営事業

(収入決算額:12,563,673 円、支出決算額:10,346,428 円)

燕三条 Bit 実績

【売上実績】

年度	売上金額	時間帯	内 訳	割 合	営業手数料
R7	194,494,961 円	ランチ	90,268,390 円	46.4%	6,612,374 円
		ディナー	104,226,571 円	53.6%	
R6	195,022,079 円	ランチ	102,181,549 円	52.4%	6,625,551 円
		ディナー	92,840,530 円	47.6%	
R5	194,024,652 円	ランチ	84,812,560 円	43.7%	6,600,616 円
		ディナー	109,212,092 円	56.3%	

【来客実績】

年度	客 数	時間帯	内 訳	割 合	客単価
R7	39,093 人	ランチ	26,078 人	66.7%	3,461 円
		ディナー	13,015 人	33.3%	8,008 円
R6	42,979 人	ランチ	29,982 人	69.8%	3,408 円
		ディナー	12,997 人	30.2%	7,143 円
R5	44,240 人	ランチ	25,674 人	58.0%	3,303 円
		ディナー	18,566 人	42.0%	5,882 円

附 属 明 細 書

令和 7 年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。